

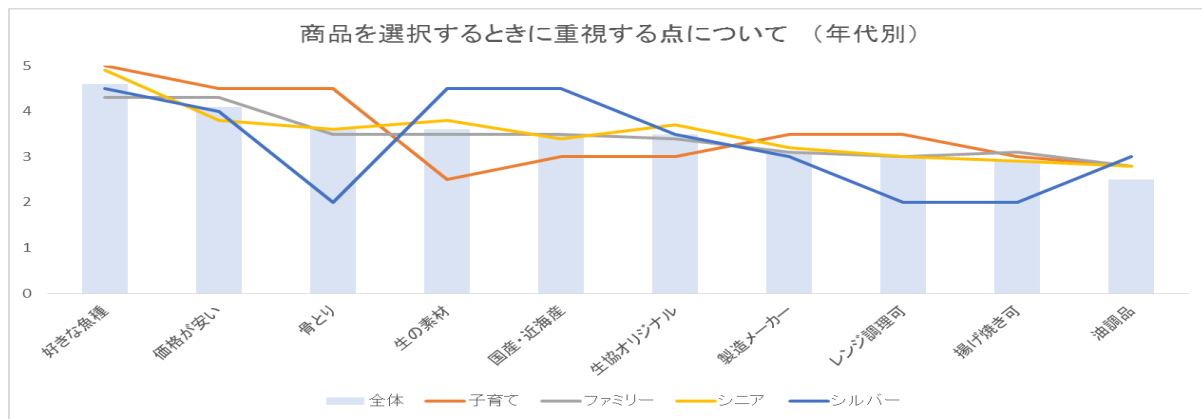
【テーマ・商品】

水産フライ・天ぷら

【モニター目的】

水産フライの品揃え最適化に向けて利用状況をヒアリングし参考にする。

【回答期間】 10/19～10/24 【回答者数】 36名



■概要(子育て:40歳未満 ファミリー:40歳以上55歳未満 シニア:55歳以上70歳未満/シルバー:70歳以上)

■水産素材のフライ・天ぷらを食べる頻度は:①時々食べる(1ヶ月に1~2回程度) 52.8% ②割とよく食べる(2週間に1~2回程度) 27.8% ③よく食べる(週に1~2回程度) 11.1% ④ほとんど食べない(3ヶ月に1~2回程度) 5.6% ⑤めったに食べない(半年~1年に1~2回程度) 2.8%

■調理方法として最も近いのは:①粉付けまでされている商品を買ってきて、自分で油で揚げる 43.3% ②素材を買ってきて、自分でフライ・天ぷら等に調理する 23.3% ③お惣菜を買ってきて食べる 16.7% ④レンジ対応商品を買ってきて、レンジ調理する 13.3% ⑤粉付けまでされている商品を買ってきて、フライパンで揚げ焼きする 3.3%

■最も多い利用シーンは:①夕食 78.1% ②弁当 12.5% ③昼食 6.3% ④朝食 3.1%

■フライとして好きな魚種は(5つまで選択可):①エビ 88.9% ②アジ 72.2% ③牡蠣 52.8% ④イカ 41.7% ⑤鮭 33.3%

■天ぷらとして好きな魚種は(5つまで選択可):①エビ 88.9% ②イカ 55.5% ③キス 52.8% ④わかさぎ 30.6% ⑤帆立 19.4%

■商品の利用状況は:①利用する商品はその時々によって異なる/利用する商品は大体同じ 各50%

■「水産素材フライ・天ぷら」商品の購入のきっかけは(3つまで選択):①過去に利用して良かったから 63.3% ②買っておいたら便利そうだった 60% ③特売になっているから 36.7% ④紙面の説明文を読んで良さそうだった 16.7% ⑤品名とイメージ画像から美味しそうだと感じたから 13.3%

■商品を選択する際に重要視する度合いは(5段階(最も重要+やや))

- ・好きな魚種であること:4.6(100%)…全年代で重要視されています。
- ・価格が安いこと:4.1(82.7%)…全体的に重要視されていますが、特に子育ては重要視しています。
- ・骨取りであること:3.6(48.2%)…子育てでは重要度が高くなっていますが、シルバーは低めです。
- ・油で揚げて食べる:2.8(20.6%)…年代が若い程重要度が低くなっています。
- ・レンジ調理が出来ること:3.0(33.3%)…特にシルバーは重要度が低めです。
- ・揚げ焼きが出来ること:2.9(26.6%)…全体的にそれほど重要度は高くありませんが、シルバーの重要度が特に低めです。
- ・製造メーカー:3.1(41.4%)…子育ての重要度が高くなっています。
- ・国産・近海産であること:3.5(46.6%)…シルバーの重要度が高く、子育ては低めとなっています。
- ・生の素材を使って加工している:3.6(53.5%)…年代が高い程重要度が高めとなっています。
- ・生協以外で買えない商品であること:3.5(53.4%)…子育てはあまり重要視しておらず、シニアはやや重要度が高めです。